

令和4年1月24日

厚生労働省
老健局長 土生栄二 様

一般社団法人 日本在宅介護協会
会長 森 信介

抗原検査キットに関する要望書

日頃は当協会の活動に対し、多大なるご理解とご支援をいただき、心より感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の拡大については一旦は落ち着きを見せたものの、オミクロン株の出現により、年明け早々から再び大きな感染拡大局面を迎えております。

重症化リスクは低い一方で感染力が極めて高いオミクロン株の特性を踏まえ、政府は社会機能を維持する為に、濃厚接触者の待機期間についてオミクロン株の感染拡大地域では現在の14日間から10日間に短縮することを1月14日に発表しました。また、命や暮らしを支える「エッセンシャルワーカー」は、検査で陰性が確認されれば最短で6日に短縮できるようにすることも併せて発表されました。待機期間は、以下のいずれかを満たした時点で解除できるとされております。

- ①PCR検査や抗原定量検査で6日目に陰性
- ②精度は落ちるが簡易に実施できる抗原定性検査キットで6、7日目に続けて陰性

この短縮措置について私どもは有難く受け止めておりますが、慢性的な人材不足に悩む介護業界においては6～7日間の待機であっても大きな影響が避けられず、上記規定の最短期間で職場復帰できるようにしておくことが不可欠だと考えております。その為には、望んだタイミングで確実に検査が受けられることが前提になりますが、感染拡大局面ではPCR検査や抗原定量検査は一般濃厚接触者の被験者で溢れ、需要に追いつかない事態も想定されます。実際、沖縄県などの感染拡大地域では既に検査能力が逼迫している状況にあります。

そうした中、我々エッセンシャルワーカーにとって重要になってくるのが薬局でも購入できる抗原定性検査キットですが、前述の1月14日政府発表前後より、店頭での入手が困難になってきているとの報道があります。エッセンシャルワーカーとされる職種は、医療や介護だけでなく運輸や小売りなど幅広く、労働集約型産業に多いことから、従事者の数も少なくありません。

こうしたエッセンシャルワーカー間での不毛な奪い合いに陥らないためにも、**抗原定性検査キットの安定的な供給と、在庫不足とならない生産・物流体制の構築**を、政府の責任において実施していただきますよう要望いたします。

加えて、上述の通り、抗原定性検査については2日連続での陰性確認が義務づけられておりますが、事業者にとって1人あたり2回の検査費用は大きな負担となる一方、「介護サービス事業所・施設における感染防止対策支援事業」における自費検査費用の助成対象は施設系・居住系に限られております。この措置を緩和いただき、**サービス種別に関わらず介護事業者の自費検査費用をかかり増し経費の対象**としていただきますよう要望いたします。

さらに、感染防止対策支援事業における基準単価(助成上限金額)は、訪問系・通所系サービスでは1事業所あたり1～2万円と設定されており、通常の感染対策備品に加えて検査キットを賄うには不十分な額と考えます。よって、**感染防止対策支援事業基準単価の引き上げ若しくは検査キットは別枠での助成措置**としていただきますようお願いいたします。

<要望事項まとめ>

1. 抗原定性検査キットの安定的な供給と、在庫不足にならない生産・物流体制の構築
2. サービス種別に関わらず介護事業者の自費検査費用をかかり増し経費の対象に
3. 感染防止対策支援事業基準単価の引き上げ若しくは検査キットは別枠での助成措置

在宅介護サービスは、在宅生活を送る要介護高齢者にとって極めて重要なライフラインであり、我が国の在宅高齢者の命と暮らしを守るため、重ねてのご支援を申し上げます。どうか格別のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

以上

令和4年1月24日

参議院議員

園田修光 先生

一般社団法人 日本在宅介護協会

会長 森 信介

抗原検査キットに関する要望書

日頃は当協会の活動に対し、多大なるご理解とご支援をいただき、心より感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の拡大については一旦は落ち着きを見せたものの、オミクロン株の出現により、年明け早々から再び大きな感染拡大局面を迎えております。

重症化リスクは低い一方で感染力が極めて高いオミクロン株の特性を踏まえ、政府は社会機能を維持する為に、濃厚接触者の待機期間についてオミクロン株の感染拡大地域では現在の14日間から10日間に短縮することを1月14日に発表しました。また、命や暮らしを支える「エッセンシャルワーカー」は、検査で陰性が確認されれば最短で6日に短縮できるようにすることも併せて発表されました。待機期間は、以下のいずれかを満たした時点で解除できるとされております。

①PCR検査や抗原定量検査で6日目に陰性

②精度は落ちるが簡易に実施できる抗原定性検査キットで6、7日目に続けて陰性

この短縮措置について私どもは有難く受け止めておりますが、慢性的な人材不足に悩む介護業界においては6～7日間の待機であっても大きな影響が避けられず、上記規定の最短期間で職場復帰できるようにしておくことが不可欠だと考えております。その為には、望んだタイミングで確実に検査が受けられることが前提になりますが、感染拡大局面ではPCR検査や抗原定量検査は一般濃厚接触者の被験者で溢れ、需要に追いつかない事態も想定されます。実際、沖縄県などの感染拡大地域では既に検査能力が逼迫している状況にあります。

そうした中、我々エッセンシャルワーカーにとって重要になってくるのが薬局でも購入できる抗原定性検査キットですが、前述の1月14日政府発表前後より、店頭での入手が困難になってきているとの報道があります。エッセンシャルワーカーとされる職種は、医療や介護だけでなく運輸や小売りなど幅広く、労働集約型産業に多いことから、従事者の数も少なくありません。

こうしたエッセンシャルワーカー間での不毛な奪い合いに陥らないためにも、**抗原定性検査キットの安定的な供給と、在庫不足とならない生産・物流体制の構築**を、政府の責任において実施していただきますよう要望いたします。

加えて、上述の通り、抗原定性検査については2日連続での陰性確認が義務づけられておりますが、事業者にとって1人あたり2回の検査費用は大きな負担となる一方、「介護サービス事業所・施設における感染防止対策支援事業」における自費検査費用の助成対象は施設系・居住系に限られております。この措置を緩和いただき、**サービス種別に関わらず介護事業者の自費検査費用をかかり増し経費の対象**としていただきますよう要望いたします。

さらに、感染防止対策支援事業における基準単価(助成上限金額)は、訪問系・通所系サービスでは1事業所あたり1～2万円と設定されており、通常の感染対策備品に加えて検査キットを賄うには不十分な額と考えます。よって、**感染防止対策支援事業基準単価の引き上げ若しくは検査キットは別枠での助成措置**としていただきますようお願いいたします。

<要望事項まとめ>

1. 抗原定性検査キットの安定的な供給と、在庫不足とまらない生産・物流体制の構築
2. サービス種別に関わらず介護事業者の自費検査費用をかかり増し経費の対象に
3. 感染防止対策支援事業基準単価の引き上げ若しくは検査キットは別枠での助成措置

在宅介護サービスは、在宅生活を送る要介護高齢者にとって極めて重要なライフラインであり、我が国の在宅高齢者の命と暮らしを守るため、重ねてのご支援を申し上げます。どうか格別のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

以上